



# 社会科通信

# PART II

第21号

**2018年(平成30年) 明けましておめでとう!**  
自分自身を大切にするために、考える力を身に付ける1年にして欲しい。自分のことを自分で決められる人になろう!

新しい年になり、もう10日に過ぎようとしています。今年の目標(めあて)を持ちましたか。最高学年、中堅学年に進級しますね。15, 14歳になる年です。昨日は成人の日でした。新成人の数は約123万人(人口の0,97%)。君たちの時は、約110万人ぐらいです。高齢者数は、3,800万人(人口の28%ぐらい)ものすごい早さで**少子高齢化**が進んでいます。今の日本の重大な課題(危機)にもなっています。

でも、君たちの人生は決して同じではありません。1人ひとり全く違うのです。これまで義務教育を受けるので、ほとんど同じような生活をしてきましたが、義務教育後は全く違ってきます。君たちが歩いて行く道を**自分で考えて**歩いていくことになります。(そのために立志式があり、札幌ではこのような式はありませんでしたが。)ですから、今年1年がととても大切な1年になります。**考える力、判断する力、表現する力、そして、いろいろなことを学ぼうとする力**が必要になってきます。

それで君たちと同じ年代の子についての新聞記事を書きました。あなたがこの記事を読んで、どのように感じたり、考えたりしたかを書いてみてください。(感想でも良い)また、今年1年の目標や努力したいこと、頑張りたいことを具体的に書きましょう。人は決して1人では生きて行くことが出来ない動物です。だから社会を形成しました。その社会について学んでいます。自ら学習すること、努力することの大切さをしっかり自覚し、我慢強く、粘り強く、続けていきましょう。私もこの年齢になっても実践していこうと考えています。(私は、初詣は安住神社に行き、**大吉**を引きましたよ)

小学生発明家から中学生社長になった

かみや 明日香 さん(14)



小学生の発明品を商品化しようと、株式会社「やくにたつものつくろ」を昨年秋に立ち上げた、社長になった。資本金の15万円は1歳からためてきたお年玉から。未成年のため、酒販コンサルタントの父、発明家(父)が専務として代表権を担う。

自身も発明家だ。小学5年生の夏休みの自由研究で、磁石を使うアルミ缶とスチール缶を分別する「空き缶分別箱」を作った。特許を取ったところ、印紙や弁理士代など費用がかさんだ。

「特許の取得や商品化を助ける仕組みがあれば、子どものアイデアでもっと世の中をよくできるのでは」。親子で意気投合した。発明の原動力は「家族の困りごと」。

「色々工夫する発明の楽しさと、人の役に立つ楽しさの両方を広められたらいいな」

写真 足立朋子

**世界- 幸福な国は?!**

知っていますか? それは**スウェーデン**なんです。スウェーデンは国民の**94%**が「幸せ」と答えました。この島の所得(国民一人当り)は**48400円(約500万円)**。173カ国・地域の中で**88位**です。金銭面では世界の真ん中ぐらい、ではなぜ「幸せ」なのだろう?

**ケレケレ精神**があふれる。(他人に何かを頼むこと)つまり、**助け合いの精神**が生き生きとあふ